

「わかる授業」実践に向けての授業改善プラン

令和4年度 府中市立府中第十中学校

教科名 国語

	「学びに向かう力等を育む」視点での現状と課題 (「本校の第1回授業評価アンケート結果」を踏まえて)	現状の課題を改善するための具体的方策	授業改善の評価方法	取り組みの修正点 (第2回生徒アンケートを踏まえて)	まとめ 成果と課題
1年	(現状) 生徒の質問に答え、理解しやすい授業が行えている。また、自分の取り組みをきちんと評価されていると実感している生徒が多い。 (課題) 漢字などの基礎学力においても差がかなりある。提出物を期限内に出せない生徒も一部いる。	小テストなどでの達成感を味わえるように指導する。既習の漢字を使って文章を書くなどの指導を行う。 学校で学習した後、ワークなどを使って復習する時間をとるなどして、力を定着させる。	プリント 定期テスト 第2回生徒アンケート	漢字テストや課題未提出者の補習を行うことで、学習習慣をつけさせる。 読書習慣をつけさせるため、本の紹介などを行って関心を高める。	漢字小テストや長期休業明けテストの点数が伸びてきた。勉強習慣も少しずつついてきている。課題としては、読解力に課題のある生徒の学習意欲向上を図ること。
2年	<現状> 「わかる授業」だと感じている生徒は96%と多い。自分の取り組みをきちんと評価されていると実感している生徒が多い。 <課題> 漢字などの課題にしっかり取り組めていない生徒が少しいる。課題に取り組めない生徒に対する生徒への対応を検討する。	・漢字については、毎時間の授業で少しずつ取り組ませ、漢字検定などを利用して自分から学ぶ意欲をもたせる。 ・課題に取り組めない生徒には放課後などを使って支援する。	・定期考査 ・第2回アンケート ・授業観察	小テストや提出物で、理解の定着を高める。 課題に取り組めない生徒には支援を続ける。 3年生に向けて自分から取り組む課題を出していく。	漢字などの授業での課題に対する取り組みはよくなっている。 タブレットを利用して、自主的に学習に取り組んでいく習慣をつけさせる。
3年	(現状) 生徒の質問に答えながら、理解しやすく、ポイントを明確にした授業が行えている。 (課題) 自分自身で考えて、課題を発見したり解決したりするよう力の育成。	探求型の授業を展開し、自ら考える機会を増やす。また、一人では考えつかないことも、グループでの話し合いで気づいたり深めたりできるように、小人数でのグループ学習・話し合いの授業を行う。	プリント 定期テスト 第2回生徒アンケート	グループでの検討、発表から、個人にフィードバックして、さらに考えを深める活動を取り入れる。	探求型のグループ活動、発表と個人で考える活動とのバランスが図れ、学習意欲につながった。 課題としては、語彙力不足、基本的な読解力に課題がある生徒の意欲向上と学力向上が挙げられる。

